



～コロナに気をつけ、みんなでがんばりましょう～

日ごろより筑波山地域ジオパークを応援いただきありがとうございます

市民活動部会通信 Vol.12をお送りします



5月18日、かすみがうら市の歴史博物館研修室を訪問しました。「霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁保存会」の設楽健夫さんにお会いして、元気な活動のご様子をつかがいました。

「帆引き網漁は明治時代に霞ヶ浦の住民によって発明されました。ワカサギとシラウオが大量にとれ漁民の生活が安定し、地域が発展しました。この漁は地域の宝であり、霞ヶ浦の原風景です」と、設楽さんは楽しそうに話されました。この宝を残していくため、霞ヶ浦の恩恵を受けてきた周辺の3市、かすみがうら市、土浦市、行方市が協力し、100年後まで「観光帆引き船」を存続させたい。そのため、行政に「観るから支援へ」を呼びかけますと、夢を力強く語られました。

霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁保存会は、2001年にはじまった「霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会」が2014年に発展、改組しました。現在の会員は、63名です。三つの部会、①後継者育成部会、②記録広報部会、③文化財保存・活用部会で仲よく活動されています。



霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁保存会事務局の設楽健夫さん

保存会の三つの部会の主な活動をご紹介します。

①後継者育成の活動

帆引き船の担い手を募集し、講座(DVD)や実習で後継者の育成と技術の継承に取り組まれています。7月下旬～11月下旬の日曜日、観光帆引き船が操業されていますよ。



船体、帆、網の他は手作りだそうです。なんか、たのしそう！



出展写真：かすみがうら市HP帆引き船まつり

②記録広報について

帆引き船をPRするため、1/40模型作り教室(写真下)を開催されています。また、昨年は霞ヶ浦帆引き船フォトコンテストで20回記念写真集(2001～2021年)を発行されました。霞ヶ浦の素晴らしい写真が満載です！



これまでに模型1500艘を作ったそうです！

出展写真：かすみがうら市HP帆引き船まつり

③文化財の保存と活用

帆引き船の調査・研究・文献収集がおこなわれています。勉強会を開催して帆引き船の保全、保護の啓発につなげたり、行政に保護・支援を呼びかけたりされています。これまでの実績は以下…すごいですね。

2006年「帆引き船」：国漁業漁村の歴史文化財百選に認定

2009年「霞ヶ浦帆引き船模型」：県郷土工芸品に指定

2015年「帆引き網漁法」：市無形民俗文化財に指定

2018年「霞ヶ浦帆引き網漁の技術」：国選択文化財に採択

2022年「霞ヶ浦帆引き船の技術」：国、県文化財指定を目指して総合調査中！

